



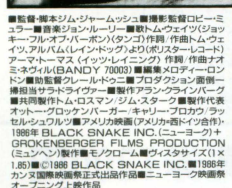
DOWN BY LAW

「ストレンジジャーザン・パラダイス」の
■ジム・ジャームツッシュ監督作品

トム・ウェイツ
ジョン・ルーリー
ロベルト・ベニーニ
ニコレッタ・プラスキ
エレイン・バーキン
ヒラリー・ネール
ロケッツ・レッドグレア
ヴァーネル・バグネリス
ティモセア・L.C.ドレーン
ジョイ・ハウク・Jr.



天国か地獄か
ニューオリンズを舞台に
笑いと愛が
詩情に昇華する
ジム・ジャームツッシュ
鮮度最高の最新傑作!



パブリシティ
フランス映画社提供

ダウン・バイ・ロー



■悲しくて美しい世界 ダウン・バイ・ロー

「ストレンジャー・ザン・パラダイス」から「ダウン・バイ・ロー」へ。世界の注目をあびるアメリカの大型新人監督ジム・ジャームッシュが、ニューヨーク・クリーヴランド・マイアミとどった青春の軌跡を、新作「ダウン・バイ・ロー」では、舞台を移して、ジャズのふるさとニューオリンズへ。卒業制作だった「パーマメント・バケーション」を数えて長編第3作になるが、製作規模からすればいよいよ初の本格的な長編劇映画製作だ。

新人らしいみずみずしさと破天荒ぶりはいささかも変わらない。シナリオは現地に行かずに書いた。なまけたのではなく、ミュージシャンとしてつちかしてきたニューオリンズへの憧れと、犯罪小説や30年代から40年代の暗黒映画で自らのなかに育ててきたイメージに賭けることが大事だったのだ。モノクロームで撮ることは最初から決まっていた。製作費の調達に難しくなることは覚悟のうえだ。黒と白とグレイのルイジアナでなければ、この映画はない。

撮影は「バリ、テキサス」の名手ロビー・ミュラー。スクリーン・フレームは横長の1×1.85。音楽はジョン・ルーリーのオリジナルと、ジャームッシュのインスピレーションのもとにもなったトム・ウェイツの歌〈ジョッキー・フル・オブ・バーボン〉。

主人公は3人。ジャームッシュのよきダウン・バイ・ロー仲間であるジョン・ルーリーが前2作に引き続き出演してジャック役。ジャームッシュが〈歌の詩人〉と尊敬するトム・ウェイツが初の主演でザック役。ザックに「悲しくて美しい世界だ」と声をかける不思議なイタリア人旅行者に、イタリアでジャームッシュが遭遇した宇宙人的天才、ロベルト・ベニーニ。

■ダウン・バイ・ローはアウトサイダーの心の合言葉

題名の「ダウン・バイ・ロー」は「ストレンジャー・ザン・パラダイス」と同様フィーリング・タイトル。

ダウン・バイ・ロー

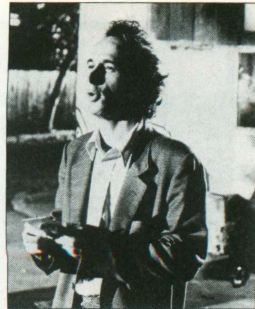
■ジム・ジャームッシュ監督作品

アメリカ映画
(モノクローム)



パワ・シリーズ
フランス映画社提供

**DOWN
BY
LAW**



間違っても、法にダウンされる、と思わないでいただきたい。法や社会がどう縛ろうと、勝手にクールに生きていける人間という意味のスラングで、ブラック・アメリカン・トークからミュージシャンの世界にひろまって、今では、たよりになる仲間の意味でも使うという。2人きりになるとすぐ喧嘩するジャックとザックや、会話帖片手にアメリカ語を話すロベルトが、そんなカッコいいダウン・バイ・ローであるかどうか、とくにご注目、乞う御期待!

■笑いと愛の傑作「ダウン・バイ・ロー」

ルイジアナの点景で素晴らしいテンポのオープニング。ガンコもので局と喧嘩して職にあぶれているディスクジョッキーのトム・ウェイツ(DJを鮮やかにこなすシーンもおたのしみ)と、いなせなチンピラのジョン・ルーリーのカッコよさ。サンキュー、バズ・オブ・トゥ・ユウ・トゥと珍妙で調子のよいロベルト。この3人がかまもしたす不思議な魅力と爆笑のギャグは絶妙で「ストレンジャー・ザン・パラダイス」よりもぐんとパワーアップ。イタリア娘ニコレッタが登場する、考えてみると本当に不思議なラストシーンも変でない不思議さ。

カンヌ映画祭をはじめ次々に各地の国際映画祭の招待作品としてひっぱり尻になり、どの映画祭でも人気ナンバーワン。

■〈カンヌ映画祭全体が笑いに笑いこぼれた映画「ダウン・バイ・ロー」=ル・ポワン誌J.-M.F.

■〈86年カンヌで映画祭全体が笑いのゴンドラにのった映画〉=リベラシオン紙総評

■〈チャップリンよりはキートンに近く、甘さに訴えずに毅然と運命を受け入れて全篇おかしき3人の主人公たち……。私たちの記憶のなかですでに永遠に歌いはじめている〉=ル・モンド紙ダニエル・エイマン

■〈悪夢とお伽話、地獄めぐりから天国に噴出する、悲しい喜劇〉=フィガロ紙

■〈ジャームッシュ再度のロック・パンチ。今度は体までしびれ、心臓を直撃するKOパンチだ。幸福!〉=リベラシオン紙ルイ・スコレツキ

■〈詩的濃度の高いお伽話。……心と感覚を従来のファッションにないものでとらえる〉=ニューヨーク・タイムズ紙ヴィンセント・キャンビー

■〈マルクス兄弟以来の強烈アンサンブルによる快演!〉=ヴィレッジ・ヴォイス紙アンドリュー・サリス

【スタッフ】

監督・脚本……………ジム・ジャームッシュ
撮影監督……………ロビー・ミュラー
音楽……………ジョン・ルーリー
演奏……………アルト・リンゼー(ギター)他
歌……………トム・ウェイツ〈ジョッキー・フル・オブ・バーボン〉(タンゴ)
作詞/作曲トム・ウェイツ、アルバム〈レイン・ドック〉より(ボリスター・レコード)
アマ・トーマス(イツ・レインク)
作詞/作曲オマニ・ネヴィル(BANDY 70003)
編集……………メロディー・ロンドン
助監督……………クレール・ドゥニ
プロダクション面例一掃担当……………サラ・ドライヴァー
照明……………クリストファー・ポーター
製作……………アラン・クラインバーグ
共同製作……………トム・ロスマン/ジム・スターク
製作代表……………オットー・グロッケンバーガー/キャリー・プロカウ
ラッセル・シュワルツ

【キャスト】

ザック……………トム・ウェイツ
ジャック……………ジョン・ルーリー
ロベルト……………ロベルト・ベニーニ
ニコレッタ……………ニコレッタ・フランスキ
ローレット……………エレン・バーキン
ポビー……………ビリー・ニール
ギグ……………ロケッツ・レッドグレア
プレ斯顿……………ヴァーネル・バクネリス
ジュリー……………ティモセア
L.C.……………L.C.ドレーン
マンディーノ刑事……………ジョイ・ハーク・JR.
アメリカ映画(アメリカ=西ドイツ合作)・1986年 BLACK SNAKE
INC.(ニューヨーク)+GROKENBERGER FILMS PRODUCTION(ミ
ュンヘン)製作/モノクローム/ヴィスタサイズ(1×1.85)/1時間47分/
全5巻・2,924m/©1986 BLACK SNAKE INC./1986年カンヌ国際映画
祭正式出品作品/ニューヨーク映画祭オープニング上映作品

11月22日(土)より
お正月映画第1弾
ロードショー決定!

有そ 楽「」町側 **スバル座** (2826)

●上映時間(12月31日の最終回は上映いたしません)

平日及び1/1	12:00	2:15	4:30	6:45
土・日・祝及び1/2~7	10:20	12:30	2:40	4:50 7:00

特別鑑賞券1200円
(一般1500円、大・高生1300円の処)
好評発売中!

劇場窓口、都内各有名プレイガイド、チケットぴあ、
チケットセゾン、丸井チケットガイド、大学生協他
●グループ鑑賞のお申込は(株)メイジャー(541)2508へ。